

# 日本ウマ科学会 2021 年度 第 3 回常任理事会議事録

日 時:2021 年 8 月 23 日(月)14:00~15:00

場 所:オンライン開催(ZOOM Web 会議システム)

出席者: 田谷 一善 副会長

和田 信也 副会長

高橋 敏之 庶務担当常任理事

半澤 恵 会計担当常任理事

楠瀬 良 編集担当常任理事

近藤 高志 学術担当常任理事

桑原 正貴 国際担当常任理事

和田 隆一 広報担当常任理事

小野 圭一 事務局長

欠席者: 青木 修 会長

佐々木 直樹 臨床担当常任理事

## 議事次第

- I. 開会..... 高橋 常任理事
- II. 挨拶・議事進行..... 和田 副会長
- III. 各賞選考委員会
  - 各賞選考委員会報告..... 楠瀬 常任理事
- IV. 役員及び評議員の選考 ..... 高橋 常任理事
- V. 報告および審議事項
  - ①第 34 回学術集会について..... 近藤 常任理事・事務局
  - ②その他
    - ウマ用語集 2023 について..... 楠瀬 常任理事
    - ICEEP の日本開催について..... 高橋 常任理事・事務局
- VI. 閉会..... 高橋 常任理事

議事概要:

### 議題 1. 各賞選考委員会報告

- 楠瀬常任理事より期限までに推薦者の申し出はなく本年は該当者なしと報告があった。

### 議題 2. 役員及び評議員の選考について

- 高橋庶務担当常任理事より、役員の選考委員会は、会長、副会長、常任理事で組織される委員会であることから常任理事会を選考委員会と置き換えて選考すること

とすると説明した。

- 和田隆一広報担当常任理事より、次期の再選について断りの申し出に対して、事務局より次期広報担当常任理事に平賀敦 JRA 参与の推薦があり承諾された。
- 評議員については、石原章和委員は麻布大学を退職されており連絡がつかない事案が発生しているという報告が田谷副会長および桑原国際担当常任理事よりあったため、石原氏は今期限りで退任していただくこととし、後任候補者を選考することになった。後任候補者の推薦は事務局に行い、メール会議にて追加審議することとなった。また、候補者不在の場合は、欠員で対応することも了承された。
- 楠瀬編集担当理事より提出されたヒポファイルの編集委員の交代については、資料を提示し3名の交代が紹介された。

### 議題3. 第34回学術集会について

- 第34回学術集会については、今回の常任理事会において審議・決定する事項が多く、対面式を含むハイブリッド式またはオンデマンド方式のみで行うかによって、大きく審議内容が異なるため、先に開催方式について審議した。結果、前回の常任理事会では、感染状況によるハイブリッド型での開催が望ましいという結論であったが、各役員から意見を聴取し、今般の新型コロナウイルス感染状況の改善が認められず、直前での変更は準備に困難を要することから、第33回に引き続き第34回の学術集会についてもオンデマンド方式に変更することを決定した。
- 会場のキャンセル料について事務局より説明があり、認定馬臨床獣医師の試験会場については変更せず2021年11月22日(月)に予定通り実施することが報告された。
- 通常総会については、役員改選やIGEOPの日本開催誘致に関する審議等が含まれる。しかし、配信を行った場合の閲覧者数や投票人数、投票システムの観点から、リアルタイム配信や会議の事前収録は行わないこととした。昨年と同じく総会資料を特設サイトに掲載し、特設サイトID付与者を総会参加者、資料に対する反対コメントを提出した方を反対票としてカウントすることとした。また、昨年よりも総会資料は詳しい説明を付したものを準備することとなった。詳しい説明については、音声や動画を含めて検討することとなった。
- 参加登録および参加費については、事務局から撮影等の出費はあるものの昨年同様に年会費納付者を無料とし、視聴IDをメールで送付する案が提案され了承された。
- 企業展示については、本年もバナーのみの対応とすることとした。
- 近藤学術担当常任理事よりシンポジウムについての説明があった。どのように開催できるか検討したいところである。パネリストの選出の点では、選手は馬に帯同してすでにヨーロッパへ移動しているため、日本馬術連盟広報担当の北野氏と相談の上、声かけできる選手に複数名のオリンピックの所感のインタビューを実施してもらった動画と、裏方で執務された獣医療の部分の3名を青木会長の進行で行う対談もしくは個々の発表の動画の2部構成で行いたいと提案があった。不確かなことが

多いが、検討し進めていきたいと説明があった。これを受けて、田谷副会長よりパラリンピックの馬術選手も可能であれば加えてほしいと提案があった。

- 特別講演について、現在の進捗状況について事務局より説明があった。Dr. Nielsen より発表動画は届いており、翻訳を行ってもらっており、臨床委員会で監訳後字幕を入れてもらう予定と報告があった。
- 認定馬臨床獣医師試験の第2回認定については、予定通り国際ファッションセンター11FのRoom116で2021年11月22日（月）に実施することが報告され、1名でも受験者がいれば佐々木氏と事務局で対応することが報告された。

#### 議題4. ウマ用語集2023編集委員について

- 楠瀬編集担当常任理事より、前回の提案を受け編集委員を決定しそのメンバーが披露された。内諾を得ており、来年修正、編集を完了し、2023年に発刊したいと説明があった。また、事務局に各委員あてに委嘱状の作成を依頼があった。
- 和田隆一広報担当理事より、紙ベースではなく、アプリケーションでの使用の可能性について質問があったが、予算面等を考慮し冊子で作成することを説明した。細菌やウイルスに関する分野の担当者が不在であるのではという質問については、用語集は2003の改訂であり、あまり多くの病理学的単語を含んでいないのでカバーしながら対応するが、和田常任理事や近藤常任理事に一部協力をお願いするという依頼があった。

#### 議題5. 第12回国際馬運動生理学会議（ICEEP）の日本開催について

- 高橋庶務担当常任理事より、ICEEPについての説明と、ICEEPの日本開催誘致を目指して立候補することの意義や、2026年に日本での開催がICEEP国際委員より強く推奨されており、JRAと共催することで過去の実績から円滑に実施することが可能であることについて説明がなされすでにJRAの内諾を得ていることも報告された。日本ウマ科学会からはスポンサー費用と国内委員の企画運営の協力をお願いしたいという説明があった。反対意見はなく承諾された。
- 田谷副会長より、是非ともプロシーディングはJESで刊行願いたいとの意見が出された。高橋庶務担当常任理事より、国際委員と相談する必要がある、加味して提案するとの回答があった。

(15:10 終了)